

# インテリジェント基準点のあり方について(案)

平成18年3月7日  
国土交通省

## ① 試作品の作成



## ② 耐久試験の実施

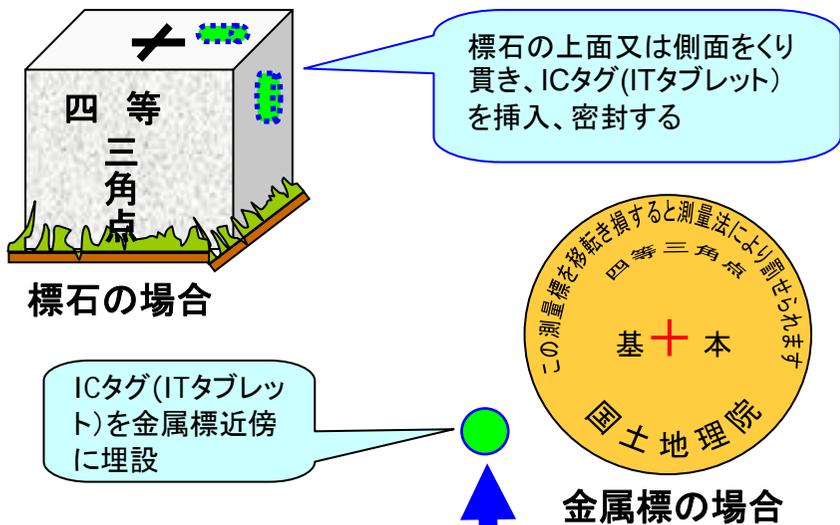


## ③ 測量機器の開発、測量方法の検討

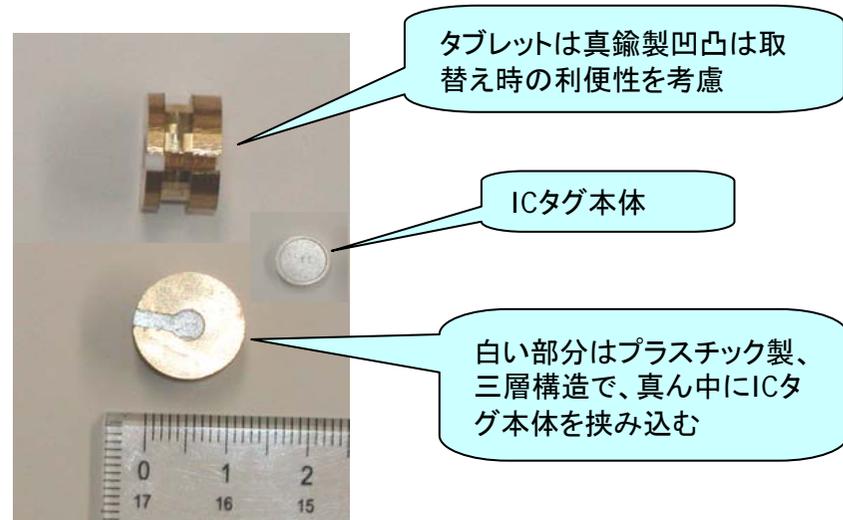


## ④ 効率的な維持管理手法の研究

## ①既存の国家基準点にICタグを取り付ける



## ICタグ (ITタブレット)



コード

- ・ICタグに予め情報を記憶しておく
- ・携帯端末に情報を記憶しておく

携帯端末

## ②オフラインによる情報提供(案)

<p>ここは〇〇町〇丁目です 概略位置は以下のとおりです 緯度: 34° 41' 17.22" 経度: 135° 11' 36.72" 標高: 2.42 m</p>	<p><b>災害情報</b> 最寄りの避難場所は 南東方向に100m 〇〇小学校です</p>
--	--

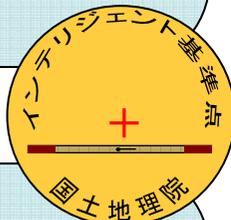
## ③新設のインテリジェント基準点への位置情報の書き込み

## ④公共基準点との連携

位置情報  
(場所情報)

- ・経緯度
- ・標高
- ・住所
- ・□ビル○階

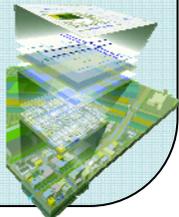
など



地理情報

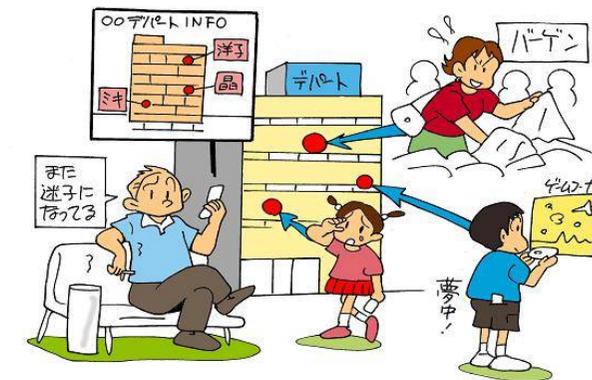
- ・多目的トイレの場所
- ・店のメニュー
- ・待合せ場所
- ・商品の内容

など



ユニバーサル社会の実現

コード  
により  
整合



新たな情報産業の創出の支援

従来測量



野帳・データコレクター



会社に持ち帰る



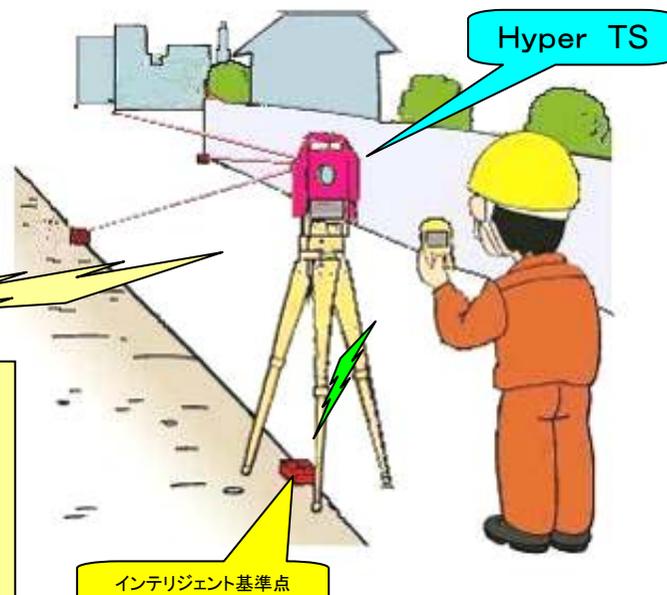
納品



確定図出力



未来の測量



データ通信でサーバーに  
直接入力

ICタグのリーダー/ライター機能も装備したノンプリズム・三次元画像処理機能など装備の自動トータルステーション(HyperTS)

インテリジェント基準点と「Hyper-TS」(仮称)で、境界杭などの位置を簡単に求め、簡易的な三次元地図も現地で得られることができる。また、取得された測量データはインターネットを利用し、会社のサーバーに送られ、確定図など測量成果品を作成することで作業の効率化が図れる。

